

新技術・情報名	ストック直播栽培の実用化技術	推進部会名	野菜・花き
実施場所	三重県農業技術センター	分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

ストック直播栽培法は、栽培の省カ化とねらいとした実用化技術である。

(1) 直播栽培では、従来の移植栽培に比べ、は種からの到花日数が短くなり、その傾向は早播きする場合及び極早生系品種を用いる場合に顕著であることが判明した。

(2) 直播栽培での切花時の品質(草丈・切花重、上物率)は、移植栽培と同等かそれ以上のものを得ることができる。

(3) 直播栽培での施肥量は、N成分で25~30kg/10aが適量であり、30kg施肥の場合は、元肥として1/3量の施用が望ましい。

(4) 播種は点播(12×15cm)によるが、播種量は、高ハ重率品種では、発芽率がやや劣るので3粒点播を必要とし、普通品種では3~5粒のやや多めの点播がよい。

2) 技術・情報の適用効果

従来のストック移植栽培と直播栽培をすることにより、作業の省カ化を図ることが可能で、1戸当たりの栽培規模の拡大ができる。さらに直播栽培では、生育期間の短縮による出荷期の前進により、ストックの後作導入品目の適用幅が広がる。

3) 適用範囲

ストック生産農家

4) 普及・利用上の留意点

- (1) ストック直播栽培における品種の選定は、普通種と利用する場合、ハ重率の比較的高い品種を選ぶ方が安全である。
- (2) ストック直播前の土壌消毒と土壌病害対策及び除草対策のため必ず実行する。

(園芸部 花き研究室 中野 直)

2. 具体的データ

第1表 播種期別 直播・移植ストック開花時切花調査結果 (1986)

試験区	播種日	方法	草丈 cm	節数	茎径 cm			切花 平均	開花日
					下	上	重 g		
1	8月11日	直播	67.5	50.7	0.95	0.54	122.4	107.28±7.8	
		移植	78.3	39.7	0.92	0.63	146.6	117.9±6.7	
2	8月21日	直播	78.3	43.3	0.94	0.57	123.4	117.6±6.1	
		移植	89.8	41.0	0.98	0.65	157.7	117.8±7.1	
3	9月1日	直播	80.9	35.8	1.11	0.64	156.9	117.8±7.1	
		移植	82.2	36.5	0.84	0.57	115.7	127.8±6.7	

品種：ホワイトワンダー、施肥量N成分24kg/10a、播種粒数1点3粒

第2表 施肥量別直播きストック開花時切花調査結果 (1987)

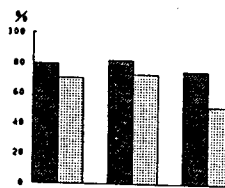
試験区	品種	草丈 cm	節数	茎径 cm			切花 平均	開花日
				下	上	重 g		
1	ホワイトワンダー	2	78.2	42.2	1.04	0.90	164.3	117.2±5.1
		3	78.5	41.9	0.97	0.84	149.8	117.3±5.4
2	スノーワンダー	2	80.6	40.6	1.09	0.96	179.8	117.1±4.0
		3	72.9	41.4	0.95	0.83	139.0	117.3±5.7
3	スノーワンダー	2	88.6	41.3	0.92	0.94	171.2	117.5±5.7
		3	98.6	40.7	0.90	0.94	182.7	117.8±5.3
4	スノーワンダー	2	89.3	41.5	0.99	0.97	192.7	117.6±6.2
		3	90.9	41.0	0.87	0.89	173.4	117.6±7.3

1: 1987年8月12日播種 (播種粒数1点3粒)
2: 元肥+追肥2回 (N成分30kg/10a)、2-追肥のみ2回 (N成分30kg/10a)
3-追肥のみ2回 (N成分25kg/10a)、4-追肥のみ2回 (N成分40kg/10a)

第3表 播種粒数別直播きストック開花時切花調査結果 (1988)

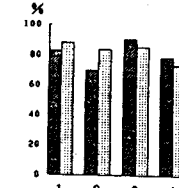
試験区	品種	播種粒数	草丈 cm	節数	茎径 cm			切花 平均	開花日
					下	上	重 g		
1	ホワイトワンダー	3	85.8	50.1	0.82	0.62	130.0	117.21±6.6	
		5	86.5	38.8	0.88	0.65	137.3	117.20±8.7	
2	スノーワンダー	3	88.0	37.7	0.86	0.60	126.5	117.20±8.0	
		5	94.8	40.7	0.86	0.61	133.9	117.29±5.6	
3	スノーワンダー	3	89.6	43.8	0.98	0.65	162.0	117.25±5.6	
		5	86.7	47.9	0.82	0.61	138.0	117.24±6.0	
4	スノーワンダー	3	87.6	42.0	0.85	0.58	130.1	117.28±5.3	
		5	87.6	42.0	0.85	0.58	130.1	117.28±5.3	

施肥量N成分30kg/10a、1: 8月16日播種、2: 8月16日播種 (9月1日移植)



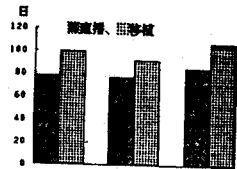
第4図 播種期および栽培方法の上物採花率への影響 (1986年)

●: 直播、○: 移植、1-8月11日播種、2-8月21日播種、3-9月1日播種

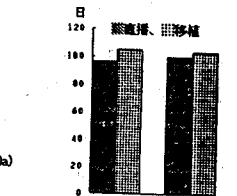


第5図 施肥量と上物採花率 (1987年)

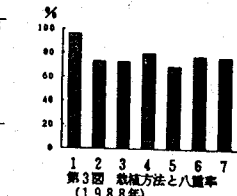
●: ホワイトワンダー、○: スノーワンダー
1-元肥+追肥2回(30kg/10a)、2-追肥2回(30kg/10a)、3-追肥2回(25kg/10a)、4-追肥2回(40kg/10a)



第1図 播種時期および栽培方法と到花日数 (1986年)



第2図 栽培方法と到花日数 (1988年)



第3図 栽培方法とハ重率 (1988年)



第6図 栽培方法と上物採花率 (1988年)

3. その他特記事項

研究課題名 中山間地帯における園芸作技術のシステム化 昭61~63年県単 (ストックを中心とした輪作体系の確立)